



石神井南中学校 学校だより

平成29年度 第12号
発行日 3月15日(木)
練馬区立石神井南中学校
校長 児島泰彦

11月にご協力いただいた学校アンケートがまとまり、先日行われた学校評議員会でご承認いただきましたので、ご紹介させていただきます。

〈アンケート結果〉

(全学年集計)

質問番号	質問内容	集計結果					評価割合				
		① あてはまる	② ややあてはまる	③ あまりあてはまらない	④ あてはまらない	⑤ 分からない	<赤色> あてはまる	<緑色> ややあてはまる	<黄色> ありあてはまらない	<青色> あてはまらない	<紫色> 分からない
1	学校は教育方針や重点目標を分かりやすく保護者に伝えている。	33%	51%	9%	1%	6%					
2	学校は特色ある学校づくり(小中一貫教育や学習態度別少人数授業)に取り組んでいる。	34%	47%	11%	3%	6%					
3	学校は学校だよりやホームページ、学年・学級通信などで学校の様子を知らせている。	66%	29%	3%	0%	2%					
4	学校は適正な学校評価を実施し、学校運営に反映させている。	29%	47%	7%	1%	16%					
5	学校は保護者や地域の意見や要望を取り入れる体制が整っている。	25%	46%	11%	2%	16%					
6	学校は清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。	58%	37%	3%	0%	2%					
7	学校は教科等でパソコン室や視聴覚機器を活用した授業を展開している。	30%	39%	9%	2%	20%					
8	学校は学校図書館や学級文庫を活用し、読書活動の充実にも努めている。	31%	48%	9%	2%	10%					
9	学校は生徒の健康や安全、食育に関する指導に努めている。	34%	47%	8%	2%	9%					
10	学校は個人情報の保護に努めている。	48%	37%	2%	1%	11%					
11	学校は分かる授業、学び合いのある授業等の授業改善に取り組んでいる。	20%	45%	12%	4%	18%					
12	学校は補習・補充教室などを行い、基礎学力の定着に努めている。	17%	44%	21%	7%	10%					
13	学校は評価・評定の規準や方法について説明している。	51%	41%	5%	2%	1%					
14	学校は生徒の学力などを適正に評価している。	29%	44%	11%	4%	12%					
15	学校は生徒の学習状況を保護者に伝えている。	30%	45%	17%	4%	5%					
16	学校は基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。	36%	50%	5%	2%	7%					
17	学校は好ましい人間関係が築けるよう指導している。	29%	50%	9%	2%	10%					
18	学校は生徒の悩みや相談に応える適切な指導を行っている。	28%	49%	6%	3%	14%					
19	学校はいじめや不登校の未然防止に努めている。	27%	43%	10%	2%	18%					
20	学校は生徒の生活状況を保護者に伝えている。	26%	53%	12%	3%	6%					
21	学校はキャリア教育を入れ、望ましい勤労観や職業観を育てる指導を行っている。	22%	37%	17%	3%	20%					
22	学校は進路説明会や進路面談を通して生徒の進路に対する意識を高めている。	35%	47%	10%	2%	6%					
23	学校は進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。	26%	48%	12%	2%	11%					
24	学校は道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。	28%	47%	7%	1%	18%					
25	学校は社会生活の規範意識を高める指導を行っている。	26%	49%	8%	0%	17%					
26	学校は運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。	54%	42%	3%	1%	0%					
27	学校は生徒会活動や委員会活動など生徒の自主性を育てる指導を行っている。	40%	48%	5%	0%	7%					
28	学校は部活動の充実を図っている。	29%	43%	14%	10%	4%					
29	学校は生徒の防災や情報モラル、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。	39%	47%	3%	1%	10%					
30	学校はオリンピック・パラリンピック教育の充実を図る指導を行っている。	29%	39%	8%	1%	23%					
31	学校は保護者会や三者面談等を通して家庭への連絡をきめ細かく行っている。	39%	46%	10%	2%	3%					
32	学校は保護者の悩みや相談に迅速で丁寧な対応を行っている。	37%	36%	8%	2%	17%					
33	学校は地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。	22%	35%	13%	2%	27%					
34	学校はPTAや地域の活動に積極的に関わっている。	35%	43%	8%	0%	14%					
35	学校は授業公開や行事など学校公開に努めている。	64%	33%	2%	1%	0%					
36	子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。	22%	34%	27%	15%	1%					
37	子どもは楽しく学校に登校している。	54%	34%	8%	2%	3%					
38	家庭ではパソコン・携帯電話・ゲームの使い方のルールを決めている。	34%	41%	16%	8%	0%					
39	家庭では学校生活の様子などについて会話やコミュニケーションが図られている。	40%	47%	10%	2%	1%					
40	保護者としてお子さまを本校に入学させて良かったと思っている。	56%	35%	3%	1%	4%					

1 自己評価結果

(1) 概要

- ①経年変化を比較するため、平成25年度から同じアンケート項目で実施している。
- ②アンケート項目の「あてはまる」「ややあてはまる」を『プラス評価』とした。
- ③アンケート項目の「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を『マイナス評価』とした。
- ④プラス評価は、「70%以上」「50%以上70%未満」「50%未満」の3グループに分類した。
- ⑤マイナス評価は、「30%以上」「30%未満」の2グループに分類した。
- ⑥昨年度と比較した各評価の±5%の増減を各評価の『上昇』『下降』とした。
- ⑦昨年度と比較し、評価の高い項目は今後も指導を継続し、評価の低い項目を中心に来年度に向けて教育内容を見直し改善していく。

(2) 昨年度との全体比較

下の表は、昨年度の結果と比較し全体的な傾向と特徴をまとめたものである。

	29年度	28年度
① 「1+2」が70%以上の項目数	33	20
② 「1+2」が50%以上70%未満の項目数	7	18
③ 「3+4」が30%以上の項目数	0	2

※①②は数が多いほど
良い評価となる。
※③は数が少ないほど
良い評価となる。

今年度90%を超えるご家庭から回答をいただき、ほとんどの質問項目がプラス評価の50%以上であったことはうれしいことであるが、一方自由記述のところを見ると我々の対応や保護者からの要望は引き続き強いものがある。特に放課後や長期休業日等での補充授業を望む声は高い。

(3) プラス評価の資料と分析

① 「1+2」が70%以上の項目

1	学校は教育方針や重点目標を分かりやすく保護者に伝えている。	9	学校は生徒の健康や安全、食育に関する指導に努めている。
2	学校は特色ある学校づくり(小中一貫教育や学習態度別少人数授業)に取り組んでいる。	10	学校は個人情報の保護に努めている。
3	学校は学校だよりやホームページ、学年・学級通信などで学校の様子を知らせている。	13	学校は評価・評定の規準や方法について説明している
4	学校は適正な学校評価を実施し、学校運営に反映させている。	14	学校は評価・評定の規準や方法について説明している
5	学校は保護者や地域の意見や要望を取り入れる体制が整っている。	15	学校は生徒の学習状況を保護者に伝えている。
6	学校は清掃が行き届き、校内美化や生徒の安全確保に努めている。	16	学校は評価・評定の規準や方法について説明している
8	学校は学校図書館や学級文庫を活用し、読書活動の充実にも努めている。	17	学校は好ましい人間関係が築けるよう指導している。
18	学校は好ましい人間関係が築けるよう指導している。	29	学校は生徒の防災や情報モラル、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。
19	学校はいじめや不登校の未然防止に努めている。	31	学校は保護者会や三者面談等を通して家庭への連絡をきめ細かく行っている。
20	学校は生徒の生活状況を保護者に伝えている。	32	学校は保護者の悩みや相談に迅速で丁寧な対応を行っている。
22	学校は進路説明会や進路面談を通して生徒の進路に対する意識を高めている。	33	学校は地域の施設や人材を活用した教育活動を行っている。
23	学校は進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。	34	学校はPTAや地域の活動に積極的に関わっている。
24	学校は道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。	35	学校は授業公開や行事など学校公開に努めている。
25	学校は社会生活の規範意識を高める指導を行っている。	37	子どもは楽しく学校に登校している。
26	学校は運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。	38	家庭ではパソコン・携帯電話・ゲームの使い方のルールを決めている。

27	学校は生徒会活動や委員会活動など生徒の自主性を育てる指導を行っている。	39	家庭では学校生活の様子などについて会話やコミュニケーションが図られている。
28	学校は部活動の充実を図っている。	40	保護者としてお子さまを本校に入学させて良かったと思っている。

②「1+2」が5%以上上がった項目（プラス評価の上昇）

2	学校は特色ある学校づくり（小中一貫教育や数学習熟度別少人数授業）に取り組んでいる。	20	学校は生徒の生活状況を保護者に伝えている。
4	学校は適正な学校評価を実施し、学校運営に反映させている。	22	学校は進路説明会や進路面談を通して生徒の進路に対する意識を高めている。
5	学校は保護者や地域の意見や要望を取り入れる体制が整っている。	23	学校は進路の情報を提供し、適切な進路指導を行っている。
7	学校は教科等でパソコン室や視聴覚機器を活用した授業を展開している。	24	学校は道徳の時間を大切にし、道徳の指導に力を入れている。
8	学校は学校図書館や学級文庫を活用し、読書活動の充実を図っている。	25	学校は社会生活の規範意識を高める指導を行っている。
9	学校は生徒の健康や安全、食育に関する指導に努めている。	26	学校は運動会や文化発表会など、学校行事の充実を図っている。
10	学校は個人情報の保護に努めている。	27	学校は生徒会活動や委員会活動など生徒の自主性を育てる指導を行っている。
13	学校は評価・評定の規準や方法について説明している	28	学校は部活動の充実を図っている。
14	学校は評価・評定の規準や方法について説明している	29	学校は生徒の防災や情報モラル、薬物乱用防止の意識を高める指導を行っている。
16	学校は評価・評定の規準や方法について説明している	32	学校は保護者の悩みや相談に迅速で丁寧な対応を行っている。
17	学校は好ましい人間関係が築けるよう指導している。	34	学校はPTAや地域の活動に積極的に関わっている。
18	学校は好ましい人間関係が築けるよう指導している。	40	保護者としてお子さまを本校に入学させて良かったと思っている。
19	学校はいじめや不登校の未然防止に努めている。		

全体の半数以上の質問項目でプラス評価の70%を超える評価をいただいている。日頃の教育活動が概ね理解されているものとする。特に90%を超える評価をいただいた学校・学級だよりやホームページなどによる学校からの情報発信は保護者の学校への関心の高さを伺わせるものである。

また美化活動や運動会・文化発表会などの行事への取り組みも引き続き高い評価を得ている。学校からの評価・評定についての説明も丁寧に対応してきた結果90%を超える理解が得られるようになった。

(4) マイナス評価の資料と分析

①「1+2」合計が前年度を10%以上下回ったもの

30	学校はオリンピック・パラリンピック教育の充実を図る指導をおこなっている。
----	--------------------------------------

②「1+2」合計が前年度を10%未満で下回ったもの

12	学校は補習・補充教室などを行い、基礎学力の定着に努めている。	36	子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。
----	--------------------------------	----	----------------------

「オリンピック・パラリンピック教育」については今年度女子サッカーの荒川選手を招いて講演会を行ったり、1学年の夏休み宿題で国調べ、保健体育でパラスポーツなどについて調べ文化発表会などで発表を行ったりしていたが、そのこと自体を知らない保護者がいたようである。さらに分からないとの回答を寄せた保護者も23%もいて引き続き学習活動を継続し、ホームページや学校・学年・クラス通信を通じて保護者へ啓発していくことが大切であると思われる。

「補習・補充教室について」は自由意見の中にも要望が寄せられていて今後も引き続き対応が求められる。

具体的な対応としては放課後学力向上支援講師などを使って補充教室を開いたり、夏休みなどに大学生のボランティアなどによる学習教室を開くことも考えられるが、予算的な措置が必要となってくる。教員を使う方法もあるが、中学校の場合多くの先生が部活動の顧問を行っているため、時間的な余裕がなく、日程も立てにくい。いずれにしろ要望に添えるよう何らかの改善は必要である。「子どもの家庭学習の習慣付け」であるが、これは学校でやり方などは教えられるが、実際にやるかは本人次第で、やらせるのも各家庭で行わなければならない、むしろ家庭で保護者がついて対応すべき問題なのではないかと思われる。保護者の意識改革も必要だと思われる。

2 学校関係者評価

(1) 総括

① 成果

- ・保護者アンケートの回答が90%を超えたことは一つの成果と言える。内容を見ても70%以上良くなったとの回答を得た項目が前年20項目だったのに対して今年度は33項目に増えていることは成果である。また本校は不登校生徒が2学年で3名のみで1・3年生にいないところも大きな成果である。引き続き、生徒指導等に尽力して欲しいとの要望を受けた。

② 課題

- ・補充教室についてはぜひ改善できるよう努力してほしい。限られた施設、限られた人材ではあるが、その中で最大限の工夫をお願いしたい。
- ・部活動については活動時間が長いという意見と短いという両方の意見が出されていた。各部活とも保護者へ学校のきまりやルール等を徹底し、保護者にも伝えて理解を得てほしいとの要望があった。
- ・家庭学習の習慣付けについては引き続き学校からも生徒や家庭へアプローチを続け家庭学習を促すよう指導をお願いしたいとのことであった。

③ 改善策

- ・補充学習については練馬区学校サポーターなどの人材バンクを活用して放課後や夏季休業期間に学習教室を実践してはどうかとの意見もあり、今後校内で検討していく予定であることを伝えた。
- ・部活保護者会などで保護者に顧問の考えや活動している曜日・時間などを伝え、考え方を理解してもらおう。また一度だけでなく、各部で複数回保護者会の開催を行う。
- ・家庭学習については学活などで生徒にも指導し、定期的に宿題などを出して習慣付けできるように生徒に促すが、家庭ごとに保護者からのアプローチなど家庭の取組が一番大切なので、保護者会などで各家庭へも呼びかけを行う。

4 次年度の学校改善に向けた校長の見解

今年度も90%を超える家庭からアンケート調査の協力をいただくことができた。学校を理解していただく手段として日頃の教育活動を積極的にアピールするため、学校だよりや学級だより等を発行したりホームページは毎日複数回更新して昨年度以上に情報発信を行った。宿泊行事の時には現地からの情報をリアルタイムに伝え保護者からも好評をいただき、アクセス数も大幅に増やすことができた。

学習面においては、日頃から落ち着いた学習環境の中で生徒たちは学んでおり、3年生の全国学力調査や2年生の都学力調査においても高い水準を維持している。これは各教室の環境整備が整っていることやICT機器の活用や教員による教材研究によって生徒にわかりやすい授業を提供していることの学習環境の整備が整っていることによると考えている。学校全体が落ち着いた雰囲気を作り出している。

一方、マイナス評価として保護者からは、補習・補充教室実施の要望や家庭学習の習慣化を望む声があるなど、学習面でのさらなる充実が期待されている。学校生活という限られた時間の中で生徒たちの活動が充実するよう1年間を見通した計画を立てていきたい。

最後に、今年度は学区の下石神井小学校の校舎改築が始まり、5月末には本校校庭を利用して小学校の運動会が行われた。これまでも下石神井小学校とは連携を図ってきたが、同じ地域の公立学校としてこれまでに以上に連携を図っていきたい。来年度も「生徒が毎日の登校を楽しみにできる学校」づくりに教職員一同邁進していく。